



令和6年5月14日(火) 晴 No. 41

## 世界に希望を生み出そう



▲会長挨拶



▲衣笠会員卓話

### 会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症対策の対応が2類から5類へと変わってから1年が経過しました。医療関係の現場、又は対面での接客業の会社ではまだまだマスク着用を義務付けられている方々もいらっしゃいますが、久しぶりに通勤時間に電車に乗ると、約半数のマスク着用状況でした。感染が増えているとお聞きする事もありますが、報道で取り上げられる事も無くなってきましたので、個々の判断の難しさを感じると共に、報道のあり方や難しさを感じています。皆様はどの様に感じられていらっしゃるでしょうか。

そして、元々5月は様々な総会関係が開催される時でもあります。これに関しましては、元に戻っただけですが、数年間のブランクがあり、大変忙しく感じ、動いていらっしゃる会員の皆様がほとんどだと思います。リハビリ中と認識し、お身体には十分ご留意され、ケガをされる事なく行動して頂ければと思います。

さて、今月5月は青少年奉仕月間となっております。この青少年奉仕は、インターアクト、ローターアクト、RYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム、ロータリー青少年交換の4つのプログラムを通して、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせ、好ましい変化をもたらせるように支援することとなっております。企業や業界団体でも、若者育成に関しては様々な活動をされていると思いますが、ロータリーのプログラムも選択肢の一つと考えて頂ければいいのではないかと思います。今年もRYLAに畑会員の社員の方が4月11日～14日の日程で参加されました。これまでも多くの方が参加して頂いていますが、参加者からは非常に勉強になると好評のようです。これからも機会があれば是非活用して頂ければと思います。21日の例会ではRYLA参加を終えての卓話もお願いしております。楽しみです。

本日例会前に、はぐるまの家の高井理事長がおこしになりました。70周年記念事業で補助させて頂いたフォークリフトの写真を頂きましたので、回覧させて頂きます。作業されている方が大変喜んでおられるとの話をお聞きしました。役立っている事がわかり、今後も関心を持って接していければと思います。

本日は衣笠会員の卓話です。

お酒は入っておりませんので内容に関しては安心して共に、大変楽しみにしております。

以上で「会長の時間」とさせていただきます。本日も最後まで宜しくお願い致します。

## 幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース  
例会変更のお知らせ  
高砂青松 RC ◇6月19日(水)→6月22日(土)18:30～ 創立記念例会  
於:加古川プラザホテル  
◇6月26日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]  
加古川平成 RC ◇6月19日(水)→15日(土)午後6時～  
姉妹クラブ合同+35周年例会のため  
於:ホテル北野プラザ六甲荘  
◇6月26日(水)→例会取消[定款第7条第1節(d)]
- 2) BOX に、「ハイライトよねやま」、地区より「2025年4月13日(日)大阪・関西万博開幕日入場券の購入について」を入れております。  
4月13日(日)大阪・関西万博開幕日の入場券について、2680地区より購入申し込みのご案内をいただいております。加古川 RC でとりまとめして申し込みしますので、ご希望の方がおられましたら、受付備忘録に枚数をご記入ください。尚、購入は4月13日入場券のみです。パビリオンの催事・見学については配布しております文書でご確認下さい。
- 3) 地区より、「石川県聴覚障害者施設(やなぎだハウス)への寄贈車出発式・贈呈式開催のお知らせ」、加古川はぐるま福祉会高井理事長より「70周年記念事業で補助させて頂いたフォークリフトの写真」をいただいておりますので回覧します。

## ニコニコ



- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員、本日の卓話楽しみにしております。   |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員、本日卓話よろしくお願ひします。  |
| 省 | 略 | ☺ | ちょっと今から土佐高知へ行ってきました。  |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員、卓話楽しみにしています。   |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員卓話楽しみです。  |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。   |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員の卓話楽しみです。がんばって下さい。  |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員、本日の卓話楽しみです。  |
| 省 | 略 | ☺ | 森田会員、今週16日(木)～19日(日)松風ギャラリーで個展ですね。おめでとうございます。   |
| 省 | 略 | ☺ | SNS(フェイスブック)で毎日投稿していますが、今日で連続5000日を達成しました。どうでもいいことです。これとは関係ありませんが、来週例会(21日)にて少しだけ卓話します。これもどうでもいいことです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員、本日の卓話とても楽しみにしています。   |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員卓話よろしく。<br>貴社の先代さんに家具屋さんと知らず西神中央の家の内装をたのんでしまいました。   |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員、卓話楽しみにしています。   |
| 省 | 略 | ☺ | 衣笠会員卓話楽しみです。  |

省 略 ☺ 衣笠会員、卓話楽しみです。  
 省 略 ☺ 衣笠さん卓話楽しみです！  
 省 略 ☺ 衣笠会員、卓話楽しみにしております。  
 省 略 ☺ 衣笠会員、卓話楽しみです。  
 省 略 ☺ 本日卓話させていただきます。皆様、よろしくお願い致します。  
 省 略 ☺ 衣笠さん、卓話楽しみです。  
 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上21件 ¥24,000-  
 本年度累計¥1,904,000-

### 出席委員会

☆ 今 週 会員数 75 名 出席 45 名 出席免除 13 名 欠席 17 名  
 ☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 73 名 出席 44 名 出席免除 13 名 欠席 16 名  
 ☆ メークアップ HYOGOE クラブ 5/6 小田

### 親睦活動委員会

例会場当番  
 5月21日(火) 高田・大西  
 5月28日(火) 植田、太田



### プログラム委員会

本日5月14日(火)	5月21日(火)	5月28日(火)	6月4日(火)
卓話 「私の生業～旅行屋 から家具屋へ～」 衣笠担当	フォーラム・ゲスト卓話 『「青少年指導者養成プロ グラム」を受講して』 高橋 由侑奈様 青少年奉仕委員会担当	卓話 「資産運用の お話し」 浅井担当	クラブ協議会 1年間の反省

### 行事の報告

4/13 奥様会 行き先:淡路島方面 19名参加  
 4/14 70周年記念式典試食会(最終)  
 4/19 加古川プロバスクラブ例会にて卓話 前川容会員  
 4/25 新入会員オリエンテーション(漣会員・松崎誠会員)

世界中で活躍する「行動人」

2024年5月

文: Brad Webber

#### メキシコ

ヌエボサンタマリア・ロータリークラブは、米国との国境にある町ヌエボ・ラレドの低所得地域にある学校にコミュニティキッチンを作り、何百人もの子どもに食事を提供しています。「この地域では、ほとんどの家庭に水道や電気がありません」と同クラブ会長のホルヘ・テヨさんは言います。同クラブは2018年に15万ドルのコミュニティキッチン・プロジェクトを立ちあげ、コメドールサンタマリア学校で2020年8月にコミュニティキッチンを開業しました。コロナ禍により当初は持ち帰りのみでしたが、2021年5月に食堂もオープンしました。「毎日230人の子どもに朝食と昼食を提供するのに、運営費が9,300ドルか



**30,000食以上**  
 2023年にコメドールサンタマリア学校で提供された食事の数

かります」とテヨさん。その資金は企業や個人からの寄付金でまかなっています。クラブ会員が運営を監督し、ロータリアンがキッチンにソーラーパネルを提供しています。

## 米国

「ビバ！ビエナ！」フェスティバルは、特別イベントを通じて住民や地域団体を活性化させる手本となっています。1990年代半ばにこのプロジェクトを開始したビエナ・ロータリークラブ（バージニア州）会員のガンナー・スパフォードさんによると、メモリアル・デー（戦没将兵追悼記念日）の週末にワシントン D.C.郊外で開催されるこの催しは、料理、ウクレレ演奏、プリンセスの衣装を来た女性たちの歌唱などで、命を落とした兵士を弔う一大イベントへと成長しました。2023年には6万人が来場し、集めた総額は23万ドル。中でも一番大きな収益を上げたのは、移動遊園地の利用料からの約13万ドルでした。次に収益が多かったのは業者の出店料で、フェスティバルのメイン会場である都市公園に近ければ近いほど料金が高くなります。ほかのロータリアンにも「ビバ！ビエナ！」の募金力を実感していただける機会になると思います」とスパフォードさん。



**14世紀**  
「フェスティバル」という単語が誕生した時代

## オランダ

2023年、数千人のロータリー会員が、オランダのロータリー100周年をこの国ならではの方法で祝いました。それは自転車ツアーです。それもただの自転車ツアーではなく、荷台付き電動自転車で1年かけて走る約5,000キロの旅です。リレー式のこのツアーでは、参加者が交代で自転車に乗り、国内の約500ロータリークラブの大半を訪れました。1月にホルガー・クナーク元RI会長、地区ガバナー、その他約1,000人が出席する中、アムステルダムオリンピックスタジアムでツアーが開幕。12月にジールランド州でゴールを迎えた際には、ロータリアンたちは森林の生態系に基づく食料栽培の一種である「食べられる森づくり」（フードフォレスト）で植林しました。第1580地区の直前ガバナーであるマデロン・シャープさん（アムステルダム・ズイド・ロータリークラブ所属）は、次のように述べます。「電動自転車ツアーと植林を通じて、環境というロータリーの重点分野について多くの人に知ってもらうことができました。このプロジェクトでロータリーが世間の注目を浴びました」。シャープさんはまた、「クラブのつながりと団結が促され、予想外の大きな成果が得られた」と言います。



**35,000キロ以上**  
オランダの自転車専用道路の全長

## アルバニア

ドゥラス・ロータリーアクトクラブは12月、アドリア海沿岸の町で、30の貧困世帯にケアパッケージを届けました。同クラブ会長のゲリ・エミさんは、どのパッケージも家庭ごとのニーズに合わせて用意したもので、このアプローチがプロジェクトの成功に大きく寄与したと言います。ロータリーアクトたちは、世帯の人数、性別、健康ニーズに関する情報を集めた上で、金銭や現物の寄付を通じて確保した物資をパッケージに詰めました。このケアパッケージのほかに、パネトーネというクリスマス用の菓子パン、レモネード、果物と野菜、衛生用品、洗剤、児童書、おもちゃ、衣類、家電、家具なども配布しました。この援助は「ささやかであり、家庭の問題を解決するものではありませんが、地域住民との関係を深めることが目的です」とエミさんは言います。



**紀元前620年代**  
ドゥラスが建設された年代（当時の名はエピダムヌ）

## ブルンジ

複数の大連こわたるロータリー会員の協力によって、ブルンジの一人の子どもの脊椎手術が実現しました。マイッサという名のこの少女は、早期発症型の脊柱側弯症（脊椎の湾曲）を患っていました。ブルンジで活動するベルギー人外科医のチームはマイッサが緊急手術を必要すると診断しましたが、国内でこの手術ができる医師が見つからず、家族は国外で手術を受けさせる経済的余裕がありませんでした。そこで医師たちは、医療ミッションのコーディネーターを務めた経験のあるピエール・デ・フリースさん（ガンドマリタイム・セント・ヘイヴン・ロータリークラブ所属）に連絡を取り、費用を抑えるためにインドから外科医を募るよう援助を求めました。手術を必要とする少女の話は、ロータリー財団グローバル補助金を利用してインドの脊椎科団体の活動を支援しているエルス・レイナース・キニさん（ムンバイボ・ロータリークラブ所属）に伝えられました。11月には、アパイ・ネネ医師とハーシャル・バブラル・バシ医師の二人が自費でブルンジに赴き、マイッサさん（現在6歳）に最初の手術を行いました。ブルンジでの医療活動を拡大しようとしているレイナース・キニさんは、マイッサさんの母親マルティエヌ・カラポーナさんの感謝の言葉を伝えています。「マイッサが自信に満ちた女性に成長できるように新たな人生を与えてくれただけでなく、今回のことで私たち全員がとても親くなり、今ではインド、ベルギー、ブルンジに広がる真のグローバルファミリーとなりました」

